

吹奏楽部定期演奏会をノバホールで開催しました。

4月22日（土）、吹奏楽部第19回定期演奏会をノバホール（つくば市吾妻1-10-1）で開催しました。「学校長挨拶」の後半部分を掲載します。

- 本校は、グローバルリーダーの育成を目指すとともに、「人間力」の育成も大切にしており、部活動も盛んです。中でも、吹奏楽部は、本校最大規模の部であり、毎日一生懸命練習しています。その成果を皆さまで見ていただく機会が、この定期演奏会です。特に、6年次生は、この演奏会を最後に引退すると聞いています。ぜひ、これまでの思いを音に込めて演奏してください。プログラムに挨拶文を書きましたので、違う話を少しだけいたします。
- 私は「アクティブ・ラーニング」について研究をしています。その過程で、AI（人工知能）の発達する近未来を生きるには、「右脳」を鍛えることが大切だと考えようになりました。これまでの、知識を重視する勉強は「左脳」を鍛えてきました。「左脳」は書く・話す・計算するといった能力を司っています。これからは、「左脳」だけでなく、「芸術の脳」「イメージの脳」とも呼ばれる「右脳」鍛えて、感性豊かでクリエイティブであることが大切な時代になるでしょう。
- そのためには、音楽を演奏する、音楽を聴く、絵画を鑑賞する、アートに触れるということも、たいへん有効です。今日の演奏会は、皆さまの「右脳」にとってもいいと思いますので、どうぞゆっくりお楽しみください。私の挨拶は以上です。ありがとうございました。

今回の演奏会は、「アクティブラーナー」である吹奏楽部員が創り上げた、クリエイティブなエンターテイメントになっていました。私の「右脳」にもとても良かったです(^_^)

